

武庫川ひろばは盛りだくさん！

—自然、憩い、食—

三田丸：田畑(関西学院大4年)、島崎(関西大4年)、
鈴木(関西学院大2年)、小西(関西学院大1年)



三田市の強み

①新三田駅という存在

- ・JR 新三田駅：1日の平均利用乗客数が **1万4千人超**(※1)
- ・大阪から電車で**約45分**
→集客力がある

②三田市は自然が魅力

- ・三田市の観光客344万人中51.4%つまり**半数以上**が自然目的で三田市を訪問(※2)
- ・大学生の331人のうち、三田市の「自然環境が魅力」と回答したのが91人で**最も多い**(※3)

(※1)ポケット統計さんだ平成26年度3月発行より

(※2)平成28年度版三田市統計書「観光客数」における、「目的別観光客」の欄のうち「自然観照」「公園・遊園地」「登山・キャンプハイキング」「釣り」「観光農園」「グリーンツーリズム」の数値の合計

(※3)平成28年度三田市学生のまちづくりに関するアンケートより

新三田駅周辺にある「自然」の場所

＝
武庫川が
活かされていない！！

しかし



写真：雑草が生えた武庫川堤防

【人口】

113,541人
(平成28年3月末時点)

【市の概要】

兵庫県の東南部に位置しており、神戸・大阪へのアクセスの良さから、ベッドタウンとしても発展している。しかし昔ながらの自然が残る地域もあり、農村と都市の顔をもつ田園都市となっている。

【特産品】

三田肉、三田米、母子茶、三田うど など

提案

武庫川ひろば

目的

より身近に自然を体感する場を作ること、三田の愛着を深め、三田のファンを増やし賑わいを作る！

概要

新三田駅すぐにある武庫川の堤防沿いを整備し、花壇やイルミネーションを設置し、人が自然に触れ合う場をつくる。

武庫川ひろば



実現までのプロセス

- ① 河川敷の整備
—草刈りや花壇 (幼稚園児・小学生在が花壇)
- ② 広場づくり
—広場の整備や浅瀬・イルミネーション等
ひろばの清掃は、学生団体が担当。花壇の水やり・管理は、地元の幼稚園児、小学生、園芸関係専攻の高校生が担当。

食イベント

三田の農産物を生かしたレシピを開発・料理を出店で提供！

★推しポイント★

- ・SNSでこのイベントを投稿した人に、三田産農産物が当たるビンゴカードを！
- ・三田産農産物をトッピングした、オリジナルの三田丼制作イベント！



さんだ地産地消プロジェクト

実現までのプロセス

- ① 市民・学生が共同で三田市の農産物使用のレシピ開発
 - ② レシピをSNSで発信するなどして、取り組みをPR
- ↓
- ③食イベントの開催(春夏秋冬1回ずつ)
→レシピを開発した市民・学生が、食をふるまう。

効果

→新三田駅周辺に、賑わう拠点ができ
る